



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 コーユーレンティア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7081 URL https://www.koyou.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅木 孝治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 渡部 泰行 TEL 03-5931-4203
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	5,584	△10.0	340	△8.4	347	△5.1	195	△2.0
2020年12月期第1四半期	6,205	—	371	—	366	—	199	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 198百万円 (4.3%) 2020年12月期第1四半期 190百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	36.09	35.57
2020年12月期第1四半期	39.83	39.59

(注) 1. 2020年12月期第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、2020年2月7日付で東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場したため、2020年12月期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から前第1四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	14,269	5,867	41.1
2020年12月期	13,996	5,826	41.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 5,866百万円 2020年12月期 5,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	—	—	28.00	28.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年12月期の配当予想額は、未定であります。

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,800	1.1	1,500	8.5	1,470	7.4	890	1.7	164.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	5,406,300株	2020年12月期	5,403,300株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	76株	2020年12月期	76株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	5,404,157株	2020年12月期1Q	5,300,608株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、四半期決算補足説明資料につきましては後日、当社ホームページにて開示予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円、銭)
当第1四半期連結累計期間	5,584	340	347	195	36.09
前第1四半期連結累計期間	6,205	371	366	199	39.83
対前年同期増減比(%)	△10.0	△8.4	△5.1	△2.0	△9.4

当第1四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年3月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通しにくい状況の中、感染拡大を抑制するためまん延防止等重点措置をはじめとした国の自粛要請により主に大都市圏にて社会・経済が停滞いたしました。イベントの一部開催など回復の兆しはみられるものの、依然先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループ（当社及び連結子会社）は、サイネージサービスを拡充するため株式会社ピースリーとの業務提携や、昨年来取り組んできた抗菌・抗ウイルスコーティングサービスの更なる拡販にむけて、デジタルマーケティングを活用して市場の拡大を図るなど経営基盤の強化に取り組むとともに、収益力向上に貢献するサービスの拡充とその拡販に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,584百万円（前年同期比10.0%減）、営業利益は340百万円（前年同期比8.4%減）、経常利益は347百万円（前年同期比5.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は195百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

セグメント別の概要は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	連結損益計算 書計上額
	レンタル関連 事業	スペース デザイン事業	物販事業	計		
外部顧客への 売上高	3,352	961	1,270	5,584	—	5,584
セグメント 利益	190	4	145	340	0	340

(レンタル関連事業)

レンタル関連事業におきましては、建設現場向け市場において、建築案件を中心に新規着工件数が減少するなど厳しい市場環境となってまいりました。このような状況の中、昨年5月に開設したKIYOSUMIテクニカルセンターを活用したICTサービスの提案により一定程度の受注量を確保することができました。イベント向け市場においては、感染拡大防止措置による観客動員数の制限を施した上で再開するイベントは一部あるものの、感染症拡大の第四波の懸念から依然先行き不透明な市場環境となっております。一方、オフィス市場においては、政府主導の経済対策やワクチン接種に関連するBPO案件が間断なく出件しており、これらに対して積極的に活動してまいりました。しかしながら、イベント向け市場での前年度売上に対する減少をカバーすることができませんでした。

この結果、当事業セグメントの売上高は3,352百万円（前年同期比14.0%減）となりました。また、セグメント利益は190百万円（前年同期比26.1%減）となりました。

(スペースデザイン事業)

スペースデザイン事業におきましては、首都圏分譲マンション市場における2021年3月までの供給戸数が6,671戸（㈱不動産経済研究所調べ）と前年同期と比較して改善傾向にはあるものの、依然厳しい市場環境が続いています。このような市場環境の中、2019年より体制を強化いたしました九州地区においてワンストップサービスの受注が拡大いたしました。また、当社の強みであるデザイン力を活かし首都圏地区においてオフィスや商業施設向け内装工事など分譲マンション市場以外での受注を確保することができました。しかしながら、収益の柱となる首都圏の分譲マンション市場の前年度売上に対する減少については、これらの案件ではカバーすることはできませんでした。

この結果、当事業セグメントの売上高は961百万円（前年同期比10.2%減）となりました。また、セグメント利益は4百万円（前年同期比82.5%減）となりました。

（物販事業）

物販事業におきましては、官公庁を中心としたFF&Eの需要が拡大する中で、特に関西地区における受注が拡大いたしました。また、特に力を入れて取り組んでいる抗菌・抗ウイルスコーティングサービスをサテライトオフィスを中心としたオフィス環境にとどまらず、営業再開する商業施設や学校関連施設などにも積極的に拡販してまいりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は1,270百万円（前年同期比2.9%増）となりました。また、セグメント利益は145百万円（前年同期比72.4%増）となりました。

なお、物販セグメントにおいては、官公庁の調達が集中する傾向にある第1四半期会計期間の売上高及び営業利益が他の四半期会計期間に比較して多くなるといった季節的変動要因があります。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ273百万円増加の14,269百万円となりました。

（流動資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べ60百万円増加の6,231百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が841百万円増加した一方で、現金及び預金が554百万円、未収入金が257百万円減少したこと等によるものであります。

（固定資産）

固定資産は前連結会計年度末に比べ212百万円増加の8,037百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が84百万円、投資有価証券が262百万円増加した一方で、貸貸用備品が105百万円減少したこと等によるものであります。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ231百万円増加の8,401百万円となりました。

（流動負債）

流動負債は前連結会計年度末に比べ374百万円増加の7,195百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が266百万円、電子記録債務が93百万円増加したこと等によるものであります。

（固定負債）

固定負債は前連結会計年度末に比べ142百万円減少の1,205百万円となりました。これは主に、長期借入金が75百万円、リース債務が74百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ41百万円増加の5,867百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が34百万円、その他有価証券評価差額金が3百万円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、2021年2月12日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,113,551	1,558,676
受取手形及び売掛金	2,613,344	3,454,669
電子記録債権	498,781	371,051
商品及び製品	81,999	64,764
仕掛品	58,167	72,679
貯蔵品	56,748	53,589
前払費用	290,433	437,600
未収入金	459,412	201,953
その他	4,932	22,516
貸倒引当金	△6,480	△5,910
流動資産合計	6,170,890	6,231,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,118,121	1,089,776
機械装置及び運搬具（純額）	3,333	3,028
工具、器具及び備品（純額）	45,145	43,714
賃貸用備品（純額）	1,585,025	1,479,905
土地	3,785,871	3,785,871
リース資産（純額）	302,827	288,576
有形固定資産合計	6,840,323	6,690,872
無形固定資産		
ソフトウェア	95,223	89,321
その他	17,630	17,630
無形固定資産合計	112,853	106,952
投資その他の資産		
投資有価証券	107,197	369,345
繰延税金資産	151,197	235,458
差入保証金	489,647	504,145
その他	124,738	131,519
貸倒引当金	△829	△829
投資その他の資産合計	871,951	1,239,639
固定資産合計	7,825,129	8,037,463
資産合計	13,996,019	14,269,053

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,072,545	2,338,631
電子記録債務	577,152	670,874
短期借入金	1,700,000	1,700,000
1年内返済予定の長期借入金	590,000	517,500
未払金及び未払費用	465,009	260,271
未払法人税等	250,491	236,737
未払消費税等	146,720	183,813
前受金	190,090	334,575
預り金	142,858	88,784
リース債務	357,971	358,934
賞与引当金	322,622	505,102
その他	5,333	430
流動負債合計	6,820,794	7,195,655
固定負債		
長期借入金	175,000	100,000
リース債務	861,749	787,582
役員退職慰労引当金	111,385	117,649
資産除去債務	199,762	199,787
その他	687	576
固定負債合計	1,348,585	1,205,595
負債合計	8,169,379	8,401,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	874,286	875,846
資本剰余金	921,163	922,723
利益剰余金	4,004,610	4,038,730
自己株式	△103	△103
株主資本合計	5,799,957	5,837,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,682	29,604
その他の包括利益累計額合計	25,682	29,604
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	5,826,640	5,867,803
負債純資産合計	13,996,019	14,269,053

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）
売上高	6,205,485	5,584,851
売上原価	4,063,806	3,495,467
売上総利益	2,141,679	2,089,384
販売費及び一般管理費	1,769,711	1,748,799
営業利益	371,968	340,584
営業外収益		
受取利息及び配当金	720	745
受取保険金	3,603	8,768
その他	5,032	6,875
営業外収益合計	9,357	16,389
営業外費用		
支払利息	12,687	9,494
支払手数料	2,457	—
その他	69	45
営業外費用合計	15,214	9,540
経常利益	366,110	347,433
特別損失		
固定資産売却損	519	—
特別損失合計	519	—
税金等調整前四半期純利益	365,591	347,433
法人税、住民税及び事業税	101,593	238,406
法人税等調整額	64,901	△86,001
法人税等合計	166,495	152,404
四半期純利益	199,096	195,029
親会社株主に帰属する四半期純利益	199,096	195,029

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）
四半期純利益	199,096	195,029
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,270	3,922
その他の包括利益合計	△8,270	3,922
四半期包括利益	190,825	198,951
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,825	198,951

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	レンタル関連 事業	スペース デザイン事業	物販事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,899,809	1,071,380	1,234,295	6,205,485	—	6,205,485
セグメント間の内部売上 高又は振替高	187,883	2,447	4,254	194,585	△194,585	—
計	4,087,693	1,073,827	1,238,549	6,400,070	△194,585	6,205,485
セグメント利益	257,337	28,007	84,186	369,531	2,436	371,968

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	レンタル関連 事業	スペース デザイン事業	物販事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,352,783	961,838	1,270,229	5,584,851	—	5,584,851
セグメント間の内部売上 高又は振替高	197,449	737	1,158	199,345	△199,345	—
計	3,550,233	962,576	1,271,388	5,784,197	△199,345	5,584,851
セグメント利益	190,181	4,897	145,097	340,176	408	340,584

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。